

SSKS

2024. 5月号

No. 562

# せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



## 令和6年度 入所式を迎えました



【 フレッシュなスーツ姿で、新生活への期待を胸に！ 】

令和6年4月1日、今年度は新たに6名の利用者を迎えて武蔵野プレイスにて入所式を行いました。菅野理事長から一人ひとりに辞令が手渡され、それぞれが社会人となった思いを語っていただきました。武蔵野市障害者福祉課の大谷係長をはじめ、各学校の先生方にも出席いただき、激励やお祝いの言葉をいただきました。

新たな仲間が加わったことで、ますます活気にあふれてきております。今後さらに活躍できるよう、頑張っていたきたいと思います。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



# はたらく力を身につけるために

## ～触れる、やってみる、挑戦する～

武蔵野千川福社会では、将来の「はたらく・くらす」において見通しを持つことができるような機会を大切にしています。その具体的なとりくみとしては、「夏季インターンシップ Let' s 夏のしごと体験」と実習です。特別支援学校の 2・3 年生を対象とした実習では 2 年生の後期実習、3 年生は前期実習と後期実習を行ないます。これらの体験・経験を経て、4 月からの事業所での新生活へとつながっていきます。

今回は就労継続支援 B 型事業所への入所までの道のりと、入所後の姿をお伝えします。

### はじめてづくしの1日

夏季インターンシップ Let' s 夏のしごと体験では、主に武蔵野市在住の特別支援学校高等部 2・3 年生を対象として、学校の夏休みの期間内で 3 日間「はたらく」についての体験を行ないます。高校 2 年生にとっては、ほとんどの人が初めてのしごと体験になります。事業所とはどのような場所なのか、「はたらく」とは、どのようなことをするのか等のイメージを持ってもらうため、実際にはたらく先輩たちと一緒に作業をします。

B 型事業所では基本的には 1 日立って作業をします。参加される人の中には、長時間立っていることができずに途中でしゃがみ込んでしまう人もいます。しかし、先輩利用者から励ましの声をもらいながら、何とか最後まで作業をしようとする姿勢が見られるようになります。

最終日の振り返りでは「大変だった。疲れた。」という感想と「封入が楽しかった。」「またやりたいです。」などの感想をあげる人もいました。しごと体験を最後までやり切ったことを先輩利用者からも拍手で労ってもらおうと、安堵の表情を浮かべる人もいました。3 日間という期間の中で、ご本人なりに「はたらく」ことの大変さや楽しさを知る機会となったのではないのでしょうか。



【幅広い作業を体験していきます】

### 皆と一緒にやってみる

インターンシップが終わると、次はいよいよ実習へとステップアップします。実習は基本的に 2 週間行ないます。実習前には、必ずご本人とご家族、特別支援学校進路担当の先生、事業所の職員で丁寧な面談を行います。実習を通してどのようなことに挑戦して頑張りたいかなど、課題や目標を確認・共有していきます。

実習では、朝から夕方まで先輩利用者と一緒に同じ作業を行なっていきます。実習初日では「疲

れました、大変でした。」の感想や緊張していた姿も実習最終日になると「大変だったけど、頑張ることができて良かったです。」とさらに自信へとつながっていきます。実習を通じて経験を積み重ねることで、将来のはたらく姿の見通しを持つことができるようになっていきます。

## かかわりの中で挑戦しつづける



【朝の会で今日の仕事を確認します】

今春、武蔵境ワーキングセンターに入所した A さんは、実習を通して一つ大きな目標を立てました。「集中して作業をする」です。A さんは手先が器用で、作業はとても丁寧にとりくむことができますが、集中力が途切れてくると体が大きく揺れて、一つひとつの動作がゆっくりになってきます。このような動きが続くと効率的ではないばかりか、毎日 7 時間の作業時間を考えると、疲労が溜まります。実際、実習中は夕方になると疲れを訴えてくることもありました。

そこで現在とりくんでいることは、効率的な作業動作の獲得です。当法人では、全事業所共通した基本の作業動作があります。“帳合は左から取る”“封入は左手で封筒を、右手で資材を掴み、資材を水平に入れる”等です。A さんも実習中から、意識して作業にとりくんでいます。

入所後に皆の前で挨拶した際は、「すごい先輩たちがいるここで働きたいと思いました。僕も負けずに仕事を頑張りたいです」と話してくれました。わからないことは素直に「わかりません、教えてください」と言える A さん。今では、先輩利用者が作業方法など優しく教えている姿も見られます。

作業は、ひとりで行うものではありません。協力し、助け合いながらひとつの完成品をつくり上げていきます。その過程で、利用者同士はさまざまなかかわりの機会があります。そのようなかかわりを大切にしていかなければならないと私たち職員は考えています。



【集中して作業をします】

## 自分でできる喜びを

当法人では、活動や作業を通して「できることを増やしていく」ことにとりくんでいます。今までできなかったことが、自分ひとりでできた時の喜びは大きいものだと思います。その喜びの機会を日々の実践のなかで、できるだけ多くの方に感じてもらえるよう、一人ひとりの目標や課題に沿った支援を心がけています。今後も法人一体となって、「自分でできる喜び」を目指した支援を行なっていきたいと考えています。

（文責：ワークイン関前 木村 美佑／武蔵境ワーキングセンター 川島 信敬）



## お寄せいただいたご寄付に 心から感謝申し上げます

長田 清英 様  
谷 義雄 様  
佐藤 徹 様  
鈴木 真理 様  
小堤 昭 様

ヘアサロン アンドウ 様  
東京第三友の会 様  
東京第三友の会吉祥寺エリア 様  
ボランティアつくしんぼの会 様  
その他匿名 様

（順不同）



## 令和6年能登半島地震で被害を受けられた方々へ

武蔵野千川福祉会は、日本赤十字社を通して100万円の義援金を送らせていただきました。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、  
一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

## 【とぴっくす】～インスタだより vol.11～

#職場実習



当法人での職場実習の様子、動画で紹介します😊

はたらくって何だろう？

はたらくって何するんだろう？

当法人の作業所でのお仕事は、ダイレクトメールが中心です。

高校に通われる実習生の皆さん。ダイレクトメールにまつわるさまざま作業を通して、たくさんのはじめてを一緒に体験しましょう。

みなさんのよろこび、戸惑いに、職員もしっかりと寄り添いたいと思っています。



【実習の修了証書 もらいました！】

## 今月の動向 ～令和6年4月～

1 日(月)入所式

8 日(月)千川おひさま幼児教室歓迎会  
常任理事会

16 日(火)地域生活支援部学習会  
B 型事業所学習会

24 日(水)常任理事会  
生活介護事業所学習会

## 来月の予定 ～令和6年5月～

1 日(水)放課後等デイサービス学習会  
児童発達支援学習会

7 日(火)B 型事業所学習会

9 日(木)学校向け法人説明会

21 日(火)監事会計監査

生活介護事業所学習会

22 日(水)監事業務監査

23 日(木)実習調整会議

24 日(金)ビジネスマナー研修



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円